

## 神の姿と似るものになる

神様が私たちに望んでいることは何でしょう？

創世記 1：26-27 神はまた言われた、「われわれのかたちに、われわれにかたどって人を造り、これに海の魚と、空の鳥と、家畜と、地のすべての獣と、地のすべての這うものとの治めさせよう」。1:27 神は自分のかたちに人を創造された。すなわち、神のかたちに創造し、男と女とに創造された。

### 姿・イメージ

Resemblance, , "a tool for graving" (from charasso, "to cut into, to engross"; cf. Eng., "character," "characteristic"); then, "a stamp" or "impress," as on a coin or a seal, in which case the seal or die which makes an impression bears the "image" produced by it, and, vice versa, all the features of the "image" correspond respectively with those of the instrument producing it.

### 似るもの

"to be like, resemble, be or act like, liken or compare, devise, balance or ponder" **"likeness; shape; figure; form; pattern."** First, the word means "pattern," in the sense of the specifications from which an actual item is made:

創世記 5:1 アダムの系図は次のとおりである。神が人を創造された時、神をかたどって造り、5:2 彼らを男と女とに創造された。彼らが創造された時、神は彼らを祝福して、その名をアダムと名づけられた。5:3 アダムは百三十歳になって、自分にかたどり、自分のかたちのような男の子を生み、その名をセツと名づけた。

詩編 17:15 しかしわたしは義にあつて、み顔を見、目ざめる時、みかたちを見て、満ち足りるでしょう。

創世記 9:6 人の血を流すものは、人に血を流される、神が自分のかたちに人を造られたゆえに。

## 聖句ではイエス様のことを何といているのでしょうか

**ヘブル人への手紙 1:3** 御子は神の栄光の輝きであり、神の本質の真の姿であって、その力ある言葉をもって万物を保っておられる。そして罪のきよめのわざをなし終えてから、いと高き所にいます大能者の右に、座につかれたのである。 **1:4** 御子は、その受け継がれた名が御使たちの名にまさっているので、彼らよりもすぐれた者となられた。 **1:5** いったい、神は御使たちのだれに対して、「あなたこそは、わたしの子。きょう、わたしはあなたを生んだ」と言い、さらにまた、「わたしは彼の父となり、彼はわたしの子となるであろう」

**コロサイ人への手紙 1:15** 御子は、見えない神のかたちであって、すべての造られたものに先だって生れたかたである。

### 1) 私たちへの神の計画とは何でしょうか？

**ローマ書 8:29** 神はあらかじめ知っておられる者たちを、更に御子のかたちに似たものとしようとして、あらかじめ定めて下さった。それは、御子を多くの兄弟の中で長子とならせるためであった。

**コリント第二の手紙 3:18** わたしたちはみな、顔おおいなしに、主の栄光を鏡に映すように見つつ、栄光から栄光へと、主と同じ姿に変えられていく。これは霊なる主の働きによるのである。

**コリント第一の手紙 15:48** この土に属する人に、土に属している人々は等しく、この天に属する人に、天に属している人々は等しいのである。 **15:49** すなわち、わたしたちは、土に属している形をとっているのと同様に、また天に属している形をとるであろう。

## 2) どのようにして主のようになっていくのでしょうか？

### 1. 罪に仕えることをやめ、私たち自身を清めていく必要があります。

ヨハネ第一の手紙 3:2 愛する者たちよ。わたしたちは今や神の子である。しかし、わたしたちがどうなるのか、まだ明らかではない。彼が現れる時、わたしたちは、自分たちが彼に似るものとなることを知っている。そのまことの御姿を見るからである。 3:3 彼についてこの望みをいただいている者は皆、彼がきよくあられるように、自らをきよくする。

ローマ書 6:5 もしわたしたちが、彼に結びついてその死の様にひとしくなるなら、さらに、彼の復活の様にもひとしくなるであろう。 6:6 わたしたちは、この事を知っている。わたしたちの内の古き人はキリストと共に十字架につけられた。それは、この罪のからだが減び、わたしたちがもはや、罪の奴隷となることがないためである。 6:7 それは、すでに死んだ者は、罪から解放されているからである。

### 2.心を新たにする

ローマ書 12:2 あなたがたは、この世と妥協してはならない。むしろ、心を新たにすることによって、造りかえられ、何が神の御旨であるか、何が善であって、神に喜ばれ、かつ全きことであるかを、わきまえ知るべきである。

### 3.良いことを心に留める

ピリピ人への手紙 4:4 あなたがたは、主にあっていつも喜びなさい。繰り返して言うが、喜びなさい。 4:5 あなたがたの寛容を、みんなの人に示しなさい。主は近い。 4:6 何事も思い煩ってはならない。ただ、事ごとに、感謝をもって祈と願いとをささげ、あなたがたの求めるところを神に申し上げるがよい。 4:7 そうすれば、人知ではどうも測り知ることのできない神の平安が、あなたがたの心と意思とを、キリスト・イエスにあって守るであろう。 4:8 最後に、兄弟たちよ。すべて真実なこと、すべて尊ぶべきこと、すべて正しいこと、すべて純真なこと、すべて愛すべきこと、すべてほまれあるこ

と、また徳といわれるもの、称賛に値するものがあれば、それらのものを心にとめさなさい。4:9 あなたがたが、わたしから学んだこと、受けたこと、聞いたこと、見たことは、これを実行しなさい。そうすれば、平和の神が、あなたがたと共にいますであろう。

**ガラテヤ人への手紙 5:19** 肉の働きは明白である。すなわち、不品行、汚れ、好色、5:20 偶像礼拝、まじない、敵意、争い、そねみ、怒り、党派心、分裂、分派、5:21 ねたみ、泥酔、宴楽、および、そのたぐいである。わたしは以前も言ったように、今も前もって言う。このようなことを行う者は、神の国をつぐことがない。5:22 しかし、御霊の実は、愛、喜び、平和、寛容、慈愛、善意、忠実、5:23 柔和、自制であって、これらを否定する律法はない。5:24 キリスト・イエスに属する者は、自分の肉を、その情と欲と共に十字架につけてしまったのである。5:25 もしわたしたちが御霊によって生きるのなら、また御霊によって進もうではないか。

### 3) まとめ

私たちは、心の中に受けいるれものによって、形成されていきます。罪あるものに目を向けていけば、私たちは、罪ある実を实らせませす。御霊の實のことをたえず考えて生きていくなれば、私たちは神とキリストのかたちと似たものに一致するように変えられていきます。